

公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金成果報告書

代表者氏名	江尻（篠原）桂子 清水（中西）由紀	所属	茨城キリスト教大学（江尻） 埼玉大学（清水）
研究集会等名称	公益社団法人日本心理学会発達心理学基礎研究検討会〔通称：土曜研〕		
成果概要	<p>1) 参加人数 合計 23名 会員 6名 非会員 17名</p> <p>2) 集会等の目的・成果等</p> <p>① 目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 本研究会では発達心理学研究の中でも、特に実証的研究、データに基づく実験・観察・調査研究に重点をおくものである。これまで年に1～2回の頻度で研究会を開催し、最新の研究成果を報告していただくとともに、それについての参加者との議論を行ってきた。今年度は第29回定例研究会を行った。 ▪ ホームページを開設し、これまでの成果（開催概要）および今後の開催予定について掲示している。 http://doyouken.jimdo.com/ <p>② 成果</p> <p>2017年度は、第29回定例研究会を行った。</p> <p><第29回研究会></p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 日時：2017年6月11日 13:30-16:30 ▪ 場所：キャンパスイノベーションセンター東京（東工大CIC） ▪ 発表者： 池田吉史先生（上越教育大学）「知的障害者の実行機能特性」 梶川祥世先生（玉川大学）「幼児の語意獲得におけるプロソディの役割」 ▪ 内容：池田先生からは知的障害児・者の実行機能特性について、ご自身の実験研究の成果をご紹介いただいた。また、児童を対象とした介入研究についてもご紹介いただき、実際の支援の在り方について議論された。梶川先生からは、ご自身の乳幼児を対象とした実験研究をご紹介いただき、語意の獲得においてプロソディが果たす役割について議論された。 <p>3) 将来の計画：</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ これまでと同様、年に1～2回の定例研究会を開催する。 ▪ 研究会の開催スタイルとしては、発達心理学の基礎研究における新進気鋭の研究者をゲストスピーカーに迎え、最新の研究成果について発表いただき、その発表内容について、参加者らで議論を行う。 ▪ 研究会の将来目標は次の二点である。 <p>① 異なる研究機関に所属する研究者同士の交流の増進を図るとともに、研究者間・研究機関間のネットワーク形成および学術情報の共有の場を提供する。</p> <p>② 研究会活動を通して、日本の発達心理学研究における若手研究者の支援と交流の活性化を目指す。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>		

第29回土曜研参加者名簿

2017年6月11日

お名前	所属	日本心理学会会員
小川清		
梶川祥世	玉川大学	○
金井セツ子	港区立港南中学校特別支援教室	
住吉チカ	福島大学	○
持田優子	町田市役所	
鬼原佐智子		
斎藤遼太郎	茨城キリスト教大学	
井瀉紀子		
脇口恭生	神奈川県立こども医療センター	
本巢望海	埼玉大学	
平田正吾	茨城キリスト教大学	
内田伸子	十文字学園女子大学	○
北田沙也加	東京学芸大学連合大学院	
小沢日美子		
下村蓉子	放送大学	
富田光代		
丸山かおる		
向山一実		
三橋翔太	東京学芸大学連合大学院	
中井喜美子	字形看護専門学校	
池田吉史	上越教育大学	○
江尻桂子	茨城キリスト教大学	○
清水由紀	埼玉大学	○

2017年6月26日

日本心理学会研究会 2017年度会計報告書

研究会名称 公益社団法人日本心理学会発達心理学基礎研究検討会
〔通称：土曜研〕

研究会番号 研17005

助成金額 ¥30,000

年月日	項目	金額
2017年5月19日	会場費 キャンパスイノベーションセンター東京(東工大CIC) 多目的室4 施設利用料	¥27,359
2017年5月19日	会場費の振込み手数料	¥216
2017年6月9日	印刷費 (配布資料印刷のためのプリンタカートリッジ)	¥3,463
2017年6月23日	郵送料 (報告書郵送のためのレターパック・プラス)	¥510
	支出合計	<u>¥31,548</u>